



## いんばぬま豆知識シリーズ その②



# 印旛沼の水はどう使われているの? ~農業用水編~

### 沼のまわりの人々の暮らし (昔)

印旛沼周辺では、弥生時代の後期には「**谷津**」(山あいに囲まれた平地)と呼ばれる地形で稲作が始まったと言われています。

一方、沼周辺の低地は湿地で稲作には適しませんが、江戸時代からは食糧増産のために新田開発が行われました。

しかし、稲を植えても3年に1回は沼周辺から入る洪水や利根川の洪水による水害によって収穫できず、農民を苦しめてきました。



谷津田 (谷あいに作られた田)



印旛沼周辺の水害

### 洪水から人々を守り、豊かな農業地帯に生まれ変わった印旛沼

太平洋戦争が終わって間もない昭和21年に、印旛沼を大規模に干拓して農地を増やそうとする計画が作られ、昭和28年には「**印旛沼土地改良区**」が設立されてポンプや用水路を使った水利用が行われるようになり、昭和38年からは「**印旛沼開発事業**」による洪水への対策も行われました。

多くの水田が作られ、印旛沼周辺は豊かな農業地帯になりました。



大正10年頃の印旛沼

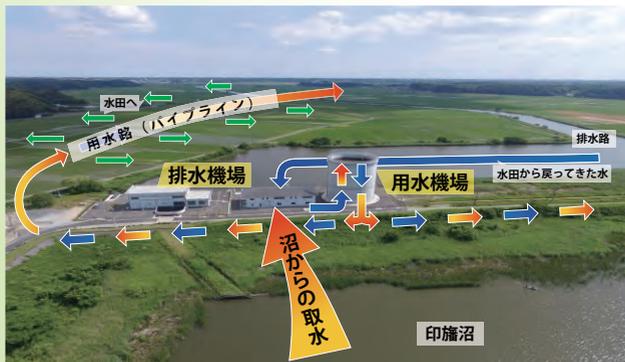


干拓された印旛沼開発事業後の印旛沼

### 農業のさらなる進化へ! 国営印旛沼二期農業水利事業

平成22年からは農林水産省による「**国営印旛沼二期農業水利事業**」が始まり、古くなった14機場を6機場にまとめて整備するとともに用水路(パイプライン)の更新整備を行うことによって維持管理の労力を減らすこととしています。

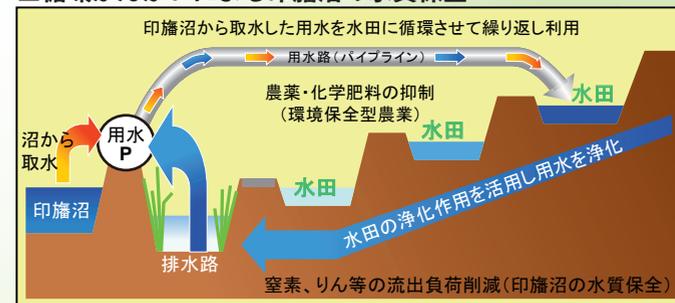
また、印旛沼の水質をきれいに保つため、沼から取水した水をできるだけ再利用して沼への排水を減らす「**循環かんがい**」も導入しています。



平成29年4月より運用開始された宗吾北機場



### ■循環かんがいによる印旛沼の水質保全



みず し げん

独立行政法人 水資源機構  
Japan Water Agency

千葉用水総合管理所

TEL : 047-483-0722 URL : <http://www.water.go.jp/kanto/chiba/index.html>

次回は「いんばぬま豆知識シリーズその③印旛沼の水道用水・工業用水」をご紹介します!